



平成 26 年 11 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社クレディセゾン
 代 表 者 名 代表取締役社長 林野 宏
 (コード番号 8253 東証第一部)
 問 合 せ 先 広報室長 田村 麻由美
 (TEL. 03-3982-0700)

平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
 及 び 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 の 修 正 に 関 す る お 知 ら せ

平成 26 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (連 結 ・ 個 別) の 業 績 予 想 と 本 日 公 表 の 実 績 に 差 異 が 生 じ ま し た の で、 下 記 の と お り お 知 ら せ い た し ま す。

また、最近の業績動向等を踏まえ、平成 26 年 5 月 14 日に公表いたしました平成 27 年 3 月 期 通 期 (連 結 ・ 個 別) 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 い た し ま し た の で お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 業績予想と実績との差異

(1) 平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 連 結 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	124,000	18,000	21,000	13,500	73.52
今回実績値 (B)	126,566	22,531	26,607	18,526	100.89
増 減 額 (B-A)	2,566	4,531	5,607	5,026	
増 減 率 (%)	2.1	25.2	26.7	37.2	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	123,938	21,893	27,306	17,649	96.11

(2) 平成 27 年 3 月 期 第 2 四 半 期 (累 計) 個 別 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異
 (平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	104,300	15,600	18,000	10,500	57.16
今回実績値 (B)	106,285	19,945	21,971	13,592	73.99
増 減 額 (B-A)	1,985	4,345	3,971	3,092	
増 減 率 (%)	1.9	27.9	22.1	29.5	
(参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	101,206	16,740	20,254	11,898	64.77

2. 通期業績予想の修正

(1) 平成27年3月期通期連結業績予想の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	253,000	34,000	40,000	23,000	125.25
今回修正予想 (B)	256,000	42,000	49,000	32,000	174.26
増減額 (B-A)	3,000	8,000	9,000	9,000	
増減率 (%)	1.2	23.5	22.5	39.1	
(参考) 前期実績 (平成26年3月期)	247,577	36,336	44,408	25,552	139.14

(2) 平成27年3月期通期個別業績予想の修正 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	212,500	30,500	34,000	17,500	95.26
今回修正予想 (B)	217,000	37,650	40,800	25,000	136.08
増減額 (B-A)	4,500	7,150	6,800	7,500	
増減率 (%)	2.1	23.4	20.0	42.9	
(参考) 前期実績 (平成26年3月期)	205,873	29,826	34,872	18,637	101.45

3. 差異及び修正の理由

平成27年3月期第2四半期累計期間の業績につきましては、営業収益は、主力のクレジットサービス事業において、ショッピング取扱高やショッピングのリボルビング残高が順調に増加したこと及びカードキャッシング残高が回復傾向にあることなどにより、前回予想を上回る結果となりました。これらの影響に加えて、連結子会社の業績が当初想定を上回ったことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益がそれぞれ、前回予想を上回る結果となりました。

通期業績予想につきましては、当初予定していた新システムへの移行時期を変更したことに伴い、減価償却費負担等が軽減される影響に加えて、直近の業況等を踏まえ、営業収益、営業利益、経常利益及び当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりました。

※上記に記載した予想数値は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上